

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
一般教養C2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	高島優子			実務 経験	有	職種	英会話講師				
担当教員紹介											
授業概要											
特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生しうる。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。											
到達目標											
日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。											
授業方法											
この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。											
成績評価方法											
試験・課題 100% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価											
履修上の注意											
英語対応能力検定を必ず受験する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
「聞く」「話す」を徹底強化 接客英会話ワークブック 基礎編											
回数	授業計画										
第1回	資格と授業の説明			日常的な会話力を身につけることを目的とすることを理解する							
第2回	あいさつ 日常的な会話			オーソドックスな中でのバリエーションや端折り方を学ぶ							
第3回	静止画、動画の撮影許諾			人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの許諾、撮影のお邪魔などなど							
第4回	撮影現場でのやり取り ①			専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ							
第5回	撮影現場でのやり取り ②			カメラ、照明、音声における専門的な言葉などを学ぶ							

2022年度 日本工学院専門学校		
放送芸術科		
一般教養C2		
第6回	撮影現場でのやり取り ③	俳優とのコミュニケーションを学ぶ
第7回	休憩など食事シーン	様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ
第8回	編集現場でのやり取り ①	特に使用する機材の名称などを学ぶ
第9回	編集現場でのやり取り ②	作業における定型句含めた言葉の定型表現を学ぶ
第10回	編集現場でのやり取り ③	作業における定型句含めた言葉の定型表現をさらに学ぶ
第11回	日常的な屋外でのやり取り①	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ①
第12回	日常的な屋外でのやり取り②	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ②
第13回	日常的な屋外でのやり取り③	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ③
第14回	日常的な屋外でのやり取り④	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ④
第15回	まとめ・総括	ここまでの内容の確認を行う